

健康管理アプリの導入について

1 背景

健康日本21（第三次）では、「誰一人取り残さない健康づくり」及び「より実効性をもつ取組の推進」のため、新たな視点として、自然に健康になれる環境づくりや個人の健康データの見える化・利活用に関する記載の具体化などが掲げられている。

台東区の65歳健康寿命（令和4年）は23区で男女ともに最下位であり、総合健康診査や各種がん検診の受診率も伸び悩んでいる。

また、令和5年度実施の「健康づくりと医療に関する意識調査」において、健康のための運動習慣があるという回答は、50.9%にとどまっている。

2 目的

ウォーキングの歩数計測や体重のデータ、健康に関する講演会への参加等のさまざまな健康データの見える化と健康活動のきっかけづくりを進めるとともに、行動・意識変容による健康改善とその改善行動の継続支援を目的とし、健康管理機能等を実装したアプリを導入し、運用する。

3 事業概要

区民が歩数計測、健康データ管理、ウォーキングイベントや講演会への参加など、健康づくり活動を行うごとに、スマートフォンにダウンロードしたアプリ上へ、区が設定したポイントを付与する。そして、取得したポイント数に応じて、区が奨励品（デジタルクーポン、最大1,000円分）を支給する。

区では、本アプリの運用により、区の健康づくり事業等のお知らせの配信（プッシュ型発信）、区民の健康データ（ライフログデータ等）の見える化と収集・分析、利用者の年代や性別の別のアプリ内各種機能の利用状況等に応じた取組を検討することで、区民の健康維持・改善につなげる。

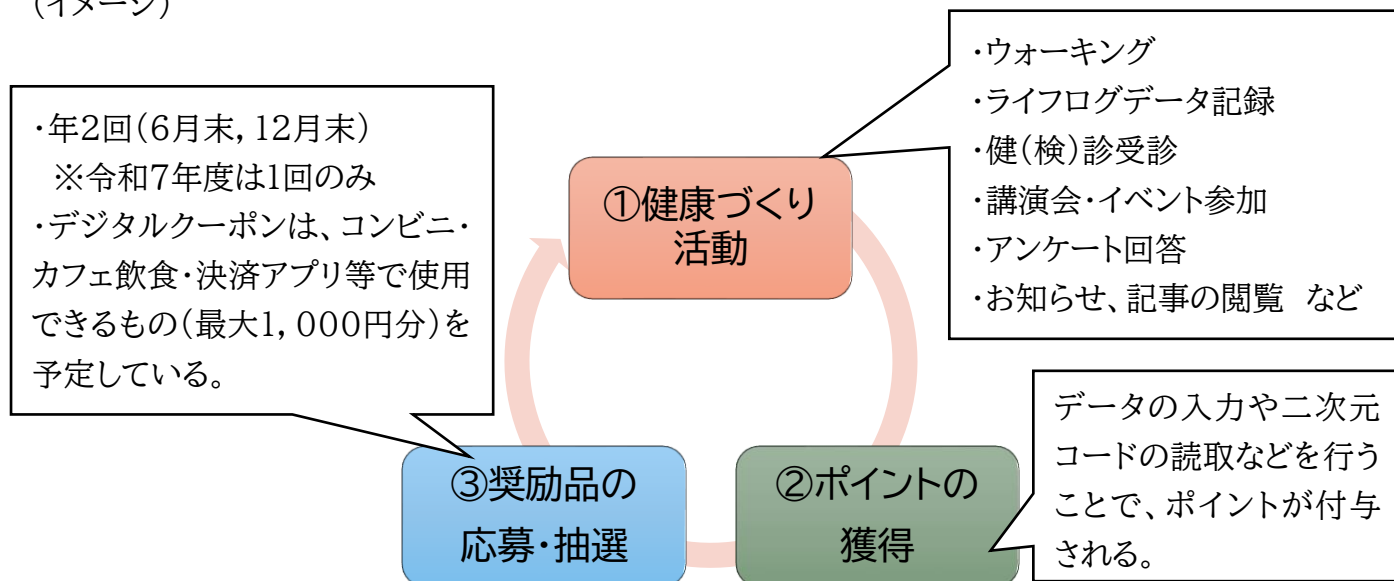
（1）対象者

18歳以上の台東区民

（2）アプリの主な機能（予定）

- ・歩数計測機能
- ・歩数ランキング機能
- ・ウォーキングコース機能
- ・ライフログデータの記録機能
- ・グラフ機能（週間ごと、月間ごと等）
- ・グループ機能
- ・健康づくり情報のお知らせ機能
- ・アンケート機能
- ・健康づくり活動へのポイント付与機能

(イメージ)



4 予算額 (案)

歳入 1,979千円

歳出 20,996千円

5 今後の予定

令和7年2月～ 公募型プロポーザルの実施

令和7年5月～ アプリ運用委託契約、システム構築

令和7年9月 区民周知

令和7年10月 アプリ運用開始